



ケンサキイカ（地方名：マイカ、シロイカ）の各地の漁況と底層水温情報を6県（長崎県、佐賀県、福岡県、山口県、島根県、鳥取県）で共同発行しましたので、お知らせします。

I. 7月のイカ釣り漁況

① 各県の主要漁港における7月の水揚量について（平年は直近の過去5年平均）。

鳥取県	主要漁港の水揚量は、前年、平年を下回りました（前年比 85%、平年比 69%）。
島根県	主要漁港の水揚量は、前年、平年を下回りました（前年比 60%、平年比 33%）。
山口県	代表2地区の水揚量は、前年、平年を下回りました（前年比 54%、平年比 61%）。
福岡県	代表港の水揚量は、前年を上回り、平年を下回りました（前年比 137%、平年比 84%）。
佐賀県	標本漁港の水揚量は、前年、平年を上回りました（前年比 163%、平年比 119%）。
長崎県	標本漁協の水揚量は、前年を上回り、平年を下回りました（前年比 132%、平年比 46%）。

※前年・平年比の評価は、90%以下では「下回る」、91%から109%では「並み」、110%以上では「上回る」としています。

② 各県の「1日1隻当たりの漁獲量（CPUE）の月別動向」と「7月の漁獲サイズ」について

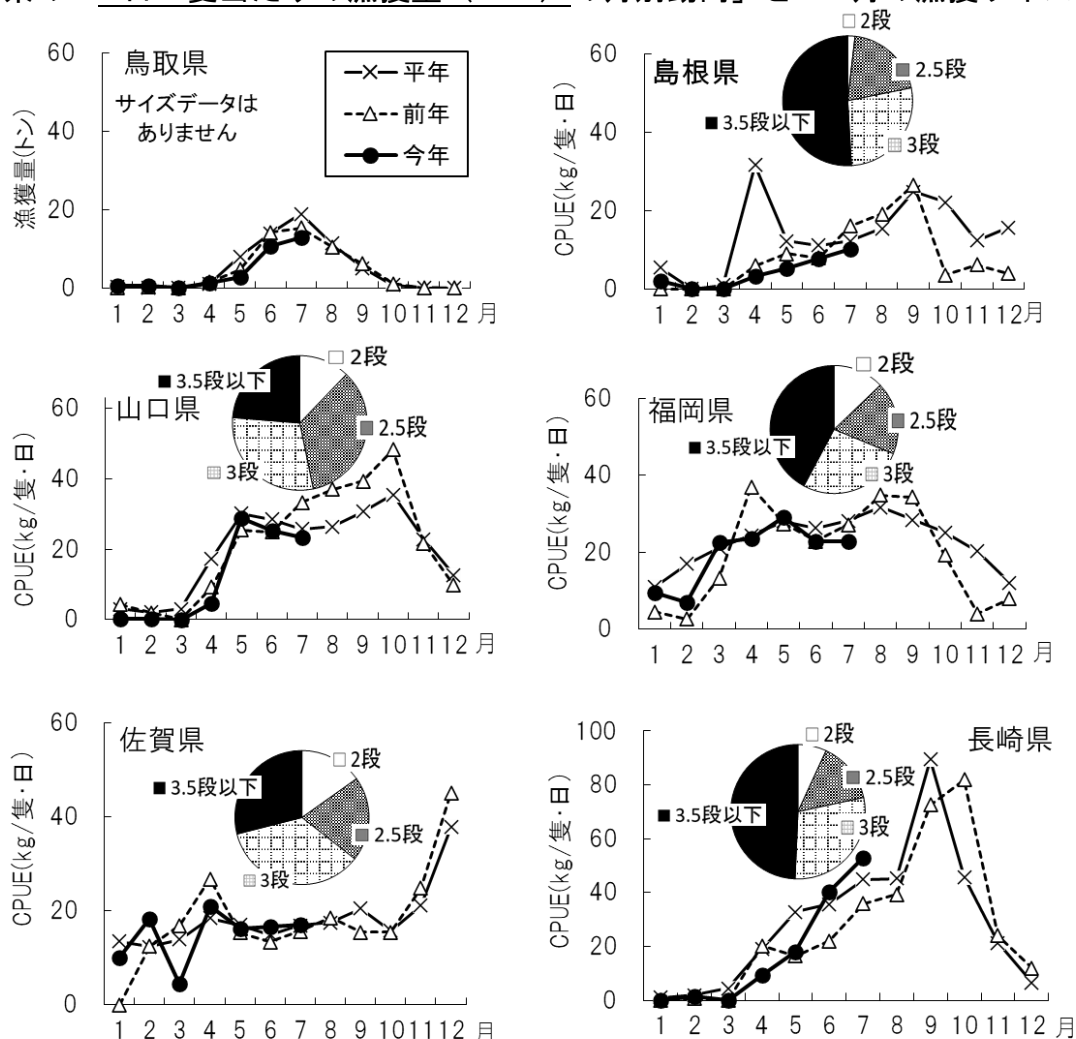


図1 各県のCPUE（折れ線グラフ）および漁獲サイズの割合（円グラフ）
※鳥取県のみ漁獲量で表示

Ⅱ. 8月上旬の底層水温

鳥取県	陸棚域（水深 28～194m）の底層水温は 1.6～23.9℃でした。
島根県	陸棚上（水深 86～141m）の底層水温は 8.2～19.6℃でした。
山口県	陸棚上（水深 63～140m）の底層水温は 4.9～22.4℃でした。
福岡県	沖合の底層水温は 17.0～19.2℃で、やや高め～かなり高めでした。
佐賀県	壱岐水道の底層水温は 23.4～25.4℃、対馬東水道は 15.3～23.7℃で、平年値と比べ+0.3～+2.8℃でした。
長崎県	8月上旬の五島西沖底水温は観測していません。

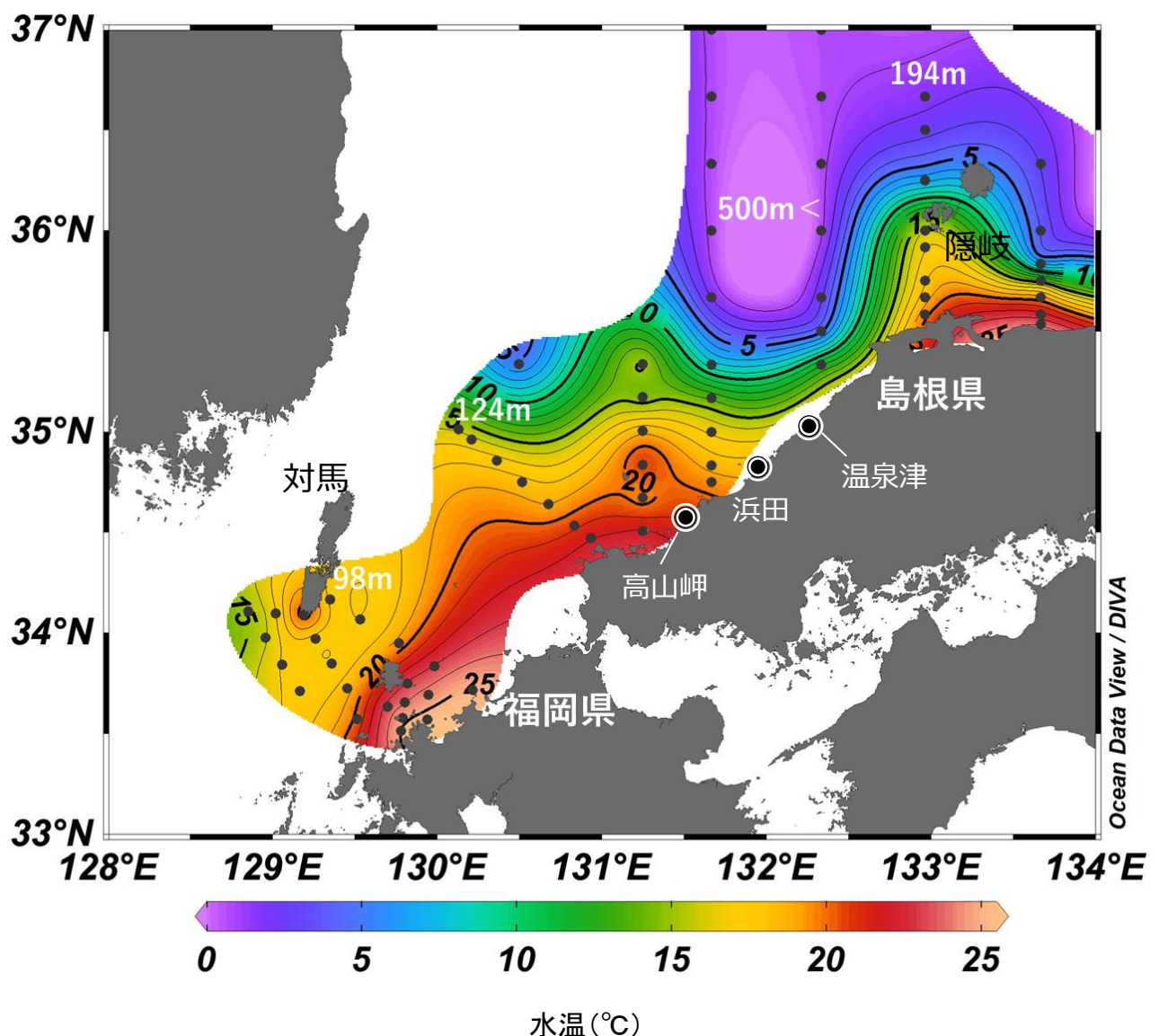


図2 長崎県～鳥取県の沿岸域・沖合域における底層の水温分布図

図中の丸（●）は観測点を、メートル（m）の単位がついている数字は水深を、単位がついていない数字は水温（℃）を示しています。

※モノクロ印刷の場合、水温帯の色の識別が困難ですので、ホームページでカラー版をご覧ください。